

国民年金からのお知らせ

国民年金よくある質問

Q 国民年金は、何歳からいくら受け取れますか？

A 老齢基礎年金は、25年(300月)の受給資格期間を満たした方に対して、原則として65歳から支給されます(受給資格期間には国民年金保険料納付済期間や保険料免除期間、厚生年金や共済組合の加入期間、厚生年金や共済組合加入の配偶者に扶養されていた20歳から60歳までの期間などを含みます)。

支給される額は、40年間(480月)保険料を納付して、満額の78万8900円、月額6万5741円です(平成23年度)。保険料を納付した期間(月数)が少なければその分年金額は減額されます。例えば納付済期間が25年の場合の年金額は、49万3100円、月額では4万1091円となります。また、保険料の免除を受

老齢基礎年金額計算式

$$\frac{\left(\begin{array}{c} \text{保険料} \\ \text{納付月数} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{c} \text{保険料を} \\ \text{免除された} \\ \text{月数} \end{array} \right) \times \left(\begin{array}{c} \text{免除の種類} \\ \text{に応じて} \\ \text{7/8} \sim \text{1/2} \end{array} \right)}{40年 \times 12月} = \text{年金額}$$

788,900円 × (平成23年度) 年金額

けた場合は、その免除の種類に応じて2分の1から8分の7(平成21年3月までの期間では3分の1から6分の5)として計算されます。

※一部免除の場合は、一部の保険料を納付した場合に限ります。

繰上げ支給と繰下げ支給

老齢基礎年金には、60歳から64歳まで年齢を繰り上げて受け取る「繰上げ支給」と66歳から70歳まで繰り下げて受け取る「繰下げ支給」の制度があります。

「繰上げ支給」を受ける場合には、年金額は繰り上げる月数に応じて減額されます。減額は、1月当たり0・5パーセントの割合となっており、60歳から受給を開始した場合、60月(5年間)繰り上げることになるため、0・5パーセント×60月＝30パーセント減額されることとなります。



一方「繰下げ支給」を受けられる場合には、年金額は繰り下げる月数に応じて増額されます。増額は、1月当たり0・7パーセントの割合となります。したがって、70歳か

ら受給を開始した場合、60月(5年間)繰り下げることになるため、0・7パーセント×60月＝42パーセント増額されることとなります。

65歳から受け取る額を100パーセントとした場合の減額率および増額率は次のとおりです。

繰上げ支給		繰下げ支給	
開始年齢	減額率	開始年齢	加算率
60歳	30%	66歳	8.4%
61歳	24%	67歳	16.8%
62歳	18%	68歳	25.2%
63歳	12%	69歳	33.6%
64歳	6%	70歳	42%

それぞれ支給を受けて変更となった年金の減額または増額率は、生涯変わりません。

また、65歳になるまでに障害基礎年金に該当するような障害が残った場合、繰上げ支給により老齢基礎年金をすでに受給していると、障害基礎年金を受給することができませんので、繰上げ支給を受ける場合は、慎重にする必要があります。

豊岡年金事務所

節電対策のため、9月の時間延長は10日(土)午前9時30分～午後4時のみとなります。お越しの際には、年金手帳など基礎年金番号の分かるものを持参ください。

なお、代理者のときは委任状と代理者の身分証明書を準備ください。

節電期間中、ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

●電話での問合せ

ねんきんダイヤル

☎0570-051165

IP電話・PHS

☎03-6700-1165

●年金個人情報サービス

日本年金機構

ホームページアドレス

<http://www.nenkin.go.jp/>

《問合せ》

▽豊岡年金事務所

☎22-0948

▽市民課市民係

☎21-9015または各

総合支所市民福祉課

みんなで節電アクション③ 毎日使う家電だからこそひと工夫!!



今年の夏は、電力供給が極めて厳しい状況となっております。私たちが、家庭やオフィスで、少しずつ節電に努めることが、被災地の復興と安定した電力供給につながります。さらに、一人一人の節電が二酸化炭素の削減に、ひいては地球温暖化防止に貢献します。

環境省が推奨する「家庭でできる節電方法」(七つのポイント)を、4回シリーズで紹介いたします。

《問合せ》エコバレー推進室 ☎21-9012

ポイント④ 冷蔵庫で節電

●開ける時間を短くし、余分な開閉をしない

開閉が多いと、冷気が逃げます。また、設定温度はできるだけ「弱」にしましょう。

●物を詰め込み過ぎない

冷気の流れが悪くなり、庫内が均一に冷えなくなります。

また、庫内の見渡しが悪くなり、ドアの開閉時間が長くなります。庫内を整理し、常温保存できるものは冷蔵庫に入れないようにしましょう。

●熱いものは冷ましてから

麦茶など、熱いものをそのまま冷蔵庫に入れると庫内の温度が上昇し、再度、冷やすために余分なエネルギーを必

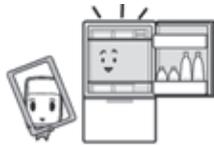
要とします。

●壁から適切な間隔で設置

冷蔵庫の周囲を壁などから離しておけば、効率よく放熱できます。

●傷んだパッキンの取り換え

傷んでいる隙間から冷気が漏れます。



ポイント⑤ 照明で節電

●器具の掃除で明るさアップ

ランプや傘が汚れると、明るさは極端に低下します。

●点灯時間を短く

必要のない明かりはこまめに消しましょう。ただし、蛍光灯は頻繁に点滅させると、ランプの寿命が縮むので注意

しましょう。

●待機消費電力を削減

壁スイッチがあれば、その電源を切りましょう。

●省エネ型の照明器具に買い換え

買い換えは、インバーター式器具がお勧めです。また、白熱電球を利用していた場合は、なるべく消費電力の少ない電球型蛍光灯やLED電球に買い換えましょう。

ポイント⑥ テレビで節電

●テレビを見ないときは消す

消すときは主電源を消しましょう。旅行など長期不在のときはプラグを抜きましょう。

●画面の掃除

テレビの画面は汚れやすいので、明るさを調整する前に、一週間に一度くらい、乾いた布で拭きましょう。

●画面は明る過ぎないように

画質モードを省エネモードに切り替えましょう。



みんなで美しい豊岡を：⑤ 資源ごみの集団回収を進めましょう!



集団回収とは?

自治会、PTA、子ども会などのいろいろな団体を中心となって、新聞紙、段ボール、雑誌、アルミ缶などの資源ごみを集め、回収業者に引き取ってもらい、リサイクルを進める活動です。

〈平成22年度 集団回収実績〉

団体数(延べ)	662団体
リサイクル量	3,422トン
奨励補助金交付額	20,371,750円

効果は一石四鳥

集団回収を実施すると、①資源ごみのリサイクル②ごみの減量③地域のコミュニケーションづくりと環境教育④団体の活動資金(奨励補助金・回収資源の売却益)の受け取りといった「一石四鳥」の大きな相乗効果が生まれます。

奨励補助金の交付

奨励補助金は、新聞紙・段ボール・雑誌は1キログラム回収につき6円、牛乳パック・古着・缶・瓶は1キログラム回収につき5円です。

地球に優しい集団回収

資源ごみ集団回収は、森や木を守り、地球温暖化の防止にもつながる地球に優しい取り組みです。みんなでリサイクルの輪を広げていきましょう。



ごみ減量のお願い

●資源ごみの集団回収の機会を増やし、新聞・雑誌・段ボールなどはできる限り集団回収に出しましょう。

●地区内の事業所にも、集団回収への協力を呼び掛けましょう。

●台所の三角コーナーでの「水切り」で、生ごみの水分を約10パーセント減らすことができます。さらに「ひと絞り」すると約30パーセントのごみ減量となります。排出する前の「ひと絞り」に協力をお願いします。

《問合せ》生活環境課 環境衛生係 ☎23-5304